

# 5月



# 図書館だより

2024年5月号 NO. 414

北茨城市立図書館

茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16



少し前の新聞で、宮澤喜一元首相（1919-2007）の残した40年分のノート185冊が見つかったという記事を読み、思わず「すごい！」と声を上げてしまいました。普通の大学ノートで、半分に秘書がその日の予定を記入し、もう半分に宮澤氏による感想やメモ、電話の相手などが記入されているそうです。2人の人間が関わっている内容で、資料としての信ぴょう性も高くなります。それに加えて手書きの文字の様子から、宮澤氏の感情が伝わるのではと想像します。日本の戦後の政治資料として第一級のものだということ。研究者にとっては、飛びつきたくなる資料です。

後日あらためてインターネットの画面で185冊のノートが並んだ画像を見ましたが、40年間淡々と記録された「手書きのノート」という超アナログ資料の圧倒的な存在感に、言葉にできない迫力を感じました。家族の方はよくぞ残して下さったと思います。ふと、これがパソコンに保存されたデータだったら？と考えずにいられません。歴史資料というものは、ちょっとした偶然で、残すことも無くすこともできると感じた出来事でした。

今後「宮澤喜一日録」としてデータベース化しているとのこと。デジタルとアナログについて考えさせられた出来事です。おりしも、図書館の新着本に「宮澤喜一の足跡」（高橋輝世著/旬報社）がありました。貸出中なので、予約を入れて読んでみようと思います。

by ビクトリア



## 《 図書館カレンダー 》 ■ = 休館日です。

★ 開館時間：午前9時30分～午後6時 ★



★ 2024年5月 ★

★ 6月 ★

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

## ★ YABOOKご紹介 ★

『増補新版 だれか、ふつうを教えてください!』

児童書 369 ク 倉本智明 / 著 新曜社

「ふつうにおいしい」「ふつうにおもしろい」、そんな話し言葉が、今の若い人たちの間で使われているのを耳にしたことがあります。状況や使い方によって様々な意味をはらんでくる「ふつう」ですが、ではその「ふつう」って一体どういうこと?という本質的な問題を投げかけているのが、今回ご紹介するこの本です。

この本を読んでもみると、「ふつう」という言葉の概念がゆらぎます。それは実際非常にあやふやで、あちらこちらに「多様性」が散りばめられた今の時代では、もはや「ふつう」と発言する場合には、慎重になるための冷静さが必要とされるほどです。

著者の倉本智明さんは、御自身の視覚障害を通じて、「ふつう」をはじめ、言葉だけが独り歩きしているかのような「共生」「バリアフリー」などを取り上げ、現代のそういった「『理解』にひそむ嘘くささ」を、幼少の頃からの実際の体験やエピソードをもとにわかりやすく伝えてくれています。

「ふつう」という概念も時代によって、国によって、そしてこの本にあるように、向かい合う人によってまったく違うものです。簡単なようで非常にデリケートな「ふつう」に対する考え方、それを今という時代に合わせた視点で改めて考えてみましょう。「ふつう」という言葉が死語となる新たな時代が見えてくるかもしれません。

by コマさん

## 図書館員のひと一言

5月10日～16日は、愛鳥週間です!



図書館では、年に4回、「図書館バードウォッチング」を行っています。今年度第一回目は、5月12日(日)に行います。…ということで、今月のひとり言では、鳥に関する本をご紹介します。

by みーやん

### ☆ 今日からはじめる ばーどらいふ! ☆

一般書488イY 一日一種 / 著 文一総合出版

鳥見(バードウォッチング)は、誰にでも気軽に始められる趣味です。鳥見を始めようと考えている方にお薦めです。鳥の探し方、道具の選び方、写真撮影の仕方など、漫画とイラストで解説します。

### ☆ にっぽんスズメ日誌 ☆

一般書488ナ 中野 さとる / 写真・文 カンゼン

そこに、チュン♡がいるならば! 著者は、ほぼ毎日、スズメの様子を観察・撮影し、その日の出来事をSNSで発信し続けています。可愛らしいスズメたちの様子、12ヵ月を綴った本です。

### ☆ 野鳥の名前 名前の由来と語源 ☆

一般書488ア 安部 直哉 / 文 叶内 拓也 / 写真 山と溪谷社

「アオサギ」は、翼や背面の羽の色が灰色を帯びた青色なので「蒼鷺」など。日本で見られる約250種の野鳥について、その名前の由来と語源を解説した本です。

新着図書の中から、  
職員がお薦めの本を紹介します。



## ◇「すごいぜ ほんのちからって！ モーリスのおうちはライフラリー」

児童書 E スゴ ティティエ・レヴィ / 文 ロレンツォ・サンジョ / 絵 はしづめ ちよこ / 訳

ネコのモーリスは、ネズミをたべてしまう さくせんをおもいつき、じっこうした。さくせん1は、はっきりとおおきなこえでほんをよむこと。そこへあつまったねずみをいっきにたべるさくせん。よみはじめると、ねずみたちがあつまってきた。かなしいおはなしだったので、モーリスはつかまえるきぶんじゃなくなってしまう。つぎの、さくせんは、ゲラゲラわらせるほんにした。わらいすぎて、いっしょにわらっているねずみたちをたべることができなくなってしまう。このあと、モーリスは、どんなさくせんがあつて、どんなほんをよんで、ねずみたちをたべることができるのか？

by チッピー

## ◇「レーエンデ国物語」

一般書 913.6 タサ 多崎 礼 / 著 講談社

これは、革命のおはなし。

聖イジョルニ帝国は、その広大な土地を12の州に分割し、治世を各州の領主に任せている。しかし、その帝国領にあって、法王庁領と帝国12州、いずれにも属さぬ地域があった。それが、大アーレス山脈と小アーレス山脈の狭間、古来より「呪われた土地」と呼ばれる場所、レーエンデ。

物語は、ある目的を携えて、険しい山を越え、壮絶な覚悟と秘めたる野心と、憧れと不安と、ちょっとした猜疑心とをもって、呪われた地レーエンデへと足を踏み入れた、一組の父娘の旅路からはじまる。

生き生きとした登場人物たち、特色ある様々な部族、恐ろしい風土病、はじめての親友、はじめての恋。

戦おう、最後まで。信念は、誰にも折られない。

by ミカゲ



## ◇「妖花魔草物語」

児童書 913 ヒ 廣嶋 玲子 / 作 まくらくらま / 絵 小峰書店

妖しく危険で不思議な植物にまつわる10篇の物語。

人間の心は正しく善いことだけではない。欲望、嫉妬。強すぎる想いは時に善い心を歪ませ、悪だと分かっている手も伸ばしてしまう。そんな人間の怖さ、愚かさをひしひしと感じ、最後の1篇まで読んでほしい。

希望は最後に残るものだから…。

by チョビコ



## ◇「注文に時間がかかるカフェ」

一般書 496 オ 大平一枝 / 著 ポプラ社

接客をしたいけれど、吃音で言葉がうまく出てこない…。そんな悩みを抱えた若者たちが始めた“注文に時間のかかるカフェ”。発起人は、自身も吃音症で、かつて夢をあきらめていた経験を持つ奥村安莉沙さん。この本は、様々な悩みを抱える中、このプロジェクトに参加した若者たちが変化してゆく姿が描かれている感動のノンフィクションです。急がない、待つことの幸せとは。



by オレンジ

## 「おはなし会」のお知らせ

🍀 しゃぼん玉の英語のおはなし会 🍀

5月4日(土) 午前11時 ~ 11時30分

🍀 図書館おはなし会 🍀

5月8日(水)・15日(水)・22(水)

午前10時 ~ 10時30分

🍀 エプロンひろ子さんのエプロンシアター 🍀

5月11日(土) 午前10時30分 ~ 11時

🍀 クーミンの英語のおはなし会 🍀

5月19日(日) 午前11時 ~ 11時30分

🍀 ぼっぽのおはなし会 🍀

5月29日(水) 午前10時 ~ 11時



## ボードゲームで遊ぼう！！

期 日	:	令和6年5月26日(日)
時 間	:	午前の部 10時 ~ 11時30分 (開場9時45分) 午後の部 14時 ~ 15時30分 (開場13時45分)
場 所	:	図書館 2階会議室
講 師	:	大森 佑樹氏
参加対象者	:	小学生以上 (当日先着30名まで) 希望者が多いときは、整理券を配布します。

## 5月企画展示紹介



### 【1階企画展示】

遠くへいこう



### 【2階企画展示】

おでかけ日和



### 【カフェ前展示】

時短/時間

